

【オール北海道ボールパーク連携協議会】 北海道ボールパーク構想について

2021年2月1日



【北海道ボールパーク圏域連携市町村】

札幌市 小樽市 苫小牧市 江別市 千歳市
恵庭市 石狩市 当別町 南幌町 由仁町
長沼町 栗山町 白老町 新篠津村 北広島市

ボールパークとは

野球スタジアムを中心に
ボールパーク = 公園や商業施設などが
複合的に併設されている空間

本場アメリカでは単なる球団事業ではなく、人々の生活を豊かにする「まちづくり事業」「都市計画事業」という側面も持っており、MLB各球団は行政と連携しながら、スタジアム・商業施設・アトラクション・公園など様々な施設・要素で複合的に構成されるボールパークを整備することで、**野球ファンはもちろんのこと、野球に関心のない人々も広く惹きつけ、日常生活における重要な構成要素として球団の本拠地である地元に溶け込み・親しまれることを目指しています**



ボールパーク建設地



TRAIN

札幌から 約 **16min**

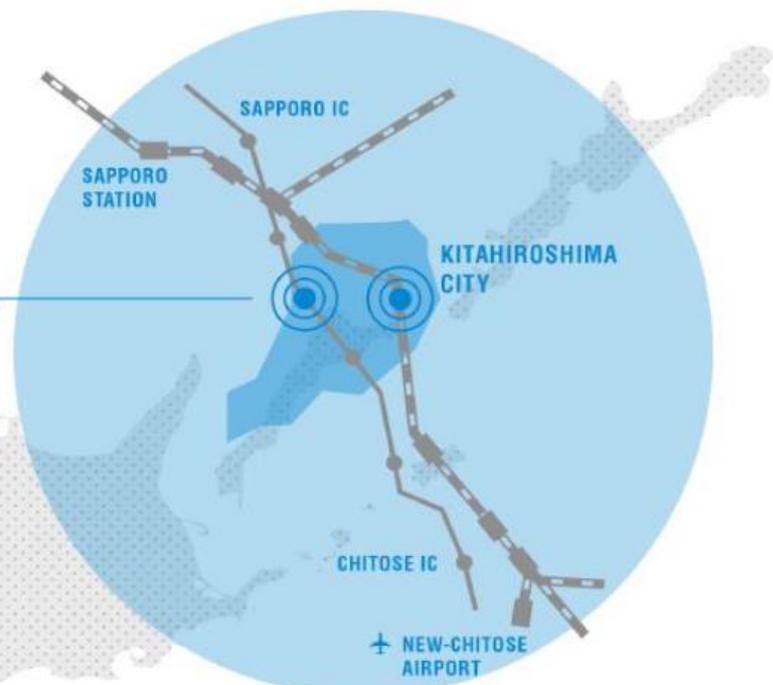
新千歳空港から . . . 約 **20min**



CAR

札幌から 約 **30min**

新千歳空港から . . . 約 **30min**



北広島市に建設
※札幌駅と新千歳空港の中間の位置

ボールパークエリア・新球場

F HOKKAIDO
BALLPARK
F.VILLAGE

【エリア名称】

北海道ボールパークFビレッジ

エンターテイメントや
アクティビティをはじめとする
充実の施設が揃った
一つの街のような空間

ES CON FIELD ★
H O K K A I D O

【新球場名称】

エスコンフィールド HOKKAIDO

最良のプレー環境と
観戦環境を実現する新球場



Fビレッジのコンセプト

最上位概念

「スポーツコミュニティ」の実現

スポーツと生活が近くにある、心と身体の健康をはぐむコミュニティを実現するために地域社会の一員として地域社会（=北海道）との共生をはかる。

BPコンセプト

「共同創造空間」の構築

スポーツコミュニティの実現、およびBPのコンセプトに賛同頂ける多種多様な自治体・団体・企業・市民・人たちが関わり共同で創り上げる空間とする。

「北海道のシンボルとなる空間」の構築

北海道の価値・魅力を国内外に発信していくことを通じて、北海道のアイデンティティを象徴し、道民・市民が夢と誇りと愛着を感じられるような空間を創り上げていく。

「コミュニティの実現」のための、「空間の構築」。即ち、持続的に成長する“まちづくり”を行っていく。

“まちづくり”の目的

ライブ・エンターテインメントの社会的価値向上

野球及びスポーツを核に、これまでにない新たな・上質なエンターテインメント空間の構築を通じて、将来を担う子供たちや次世代に対してより価値の高い体験を提供し、人生を豊かにする選択肢の提供を目指す。

リビング・コミュニティの醸成

野球・新球場を一つのきっかけに、市民・道民・国内外の来訪者等人種や階層にとらわれず多種多様な人々が自然に集えるような、住居における“リビング”のような空間の構築されることで、既成概念にとらわれない価値の連鎖を生む様々なコミュニティが醸成されていくことを目指す。

社会課題解決のきっかけづくり

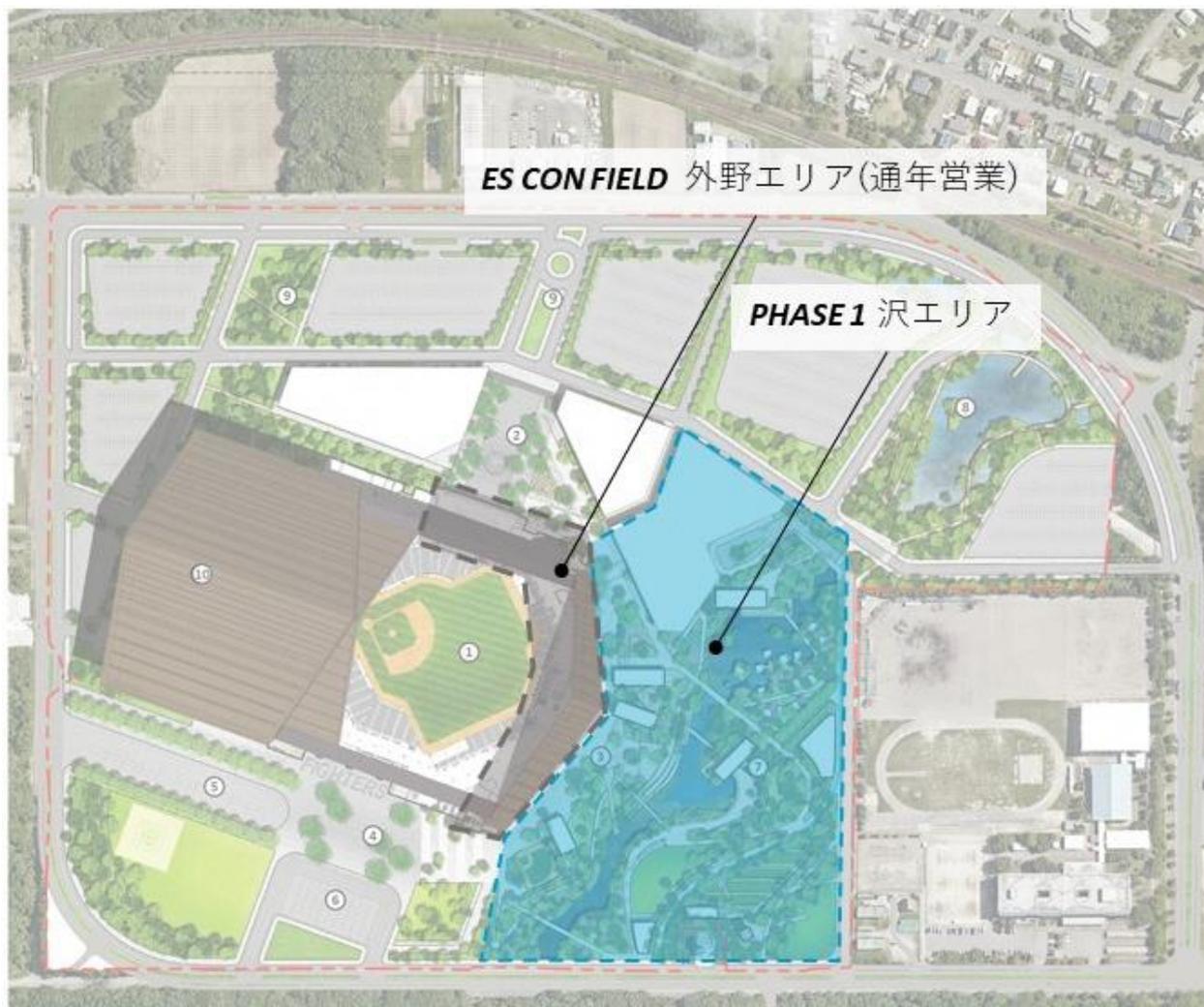
新球場の開業を起点にした持続的なまちづくりの整備/開発の過程で、経済性・収益性といった価値基準に偏重することなく、地域や社会の課題解決のきっかけを模索し、課題解決のための実証実験などの実践を通じて社会をより良くすることを目指す。

フォーメーション

第1期事業参画パートナー各社様と連携し、パブリックスペースのバリューアップを目的に共同運用体制を構築する。

**多種多様なパートナーと共に
北海道のシンボルとなる空間を共同創造**

Fビレッジ フェーズIエリア



フェーズ1 (2023年～2026年) では外野エリア及び沢エリアの充実を図る

※温浴施設・ホテル・グランピング・レストラン 等

新球場スペック



- 【仕様】 開閉式ルーフ・天然芝フィールド
- 【建築面積】 約 50,000㎡
- 【延べ面積】 約120,000㎡
- 【収容人数】 約 35,000人
- 【構造】 RC造・S造
- 【階数】 地下2階（フィールド）
地上6階（地上から約70m）
- 【開閉構造】 1枚屋根スライド式（2枚屋根／1枚固定）

新球場建設工事について



① 計画段階

② 設計段階

③ 建設工事段階



2023年3月開業予定

建築現場ライブカメラ

<https://www.hkdballpark.com/>



FSEホームページの
トップ画面を
下へスクロール

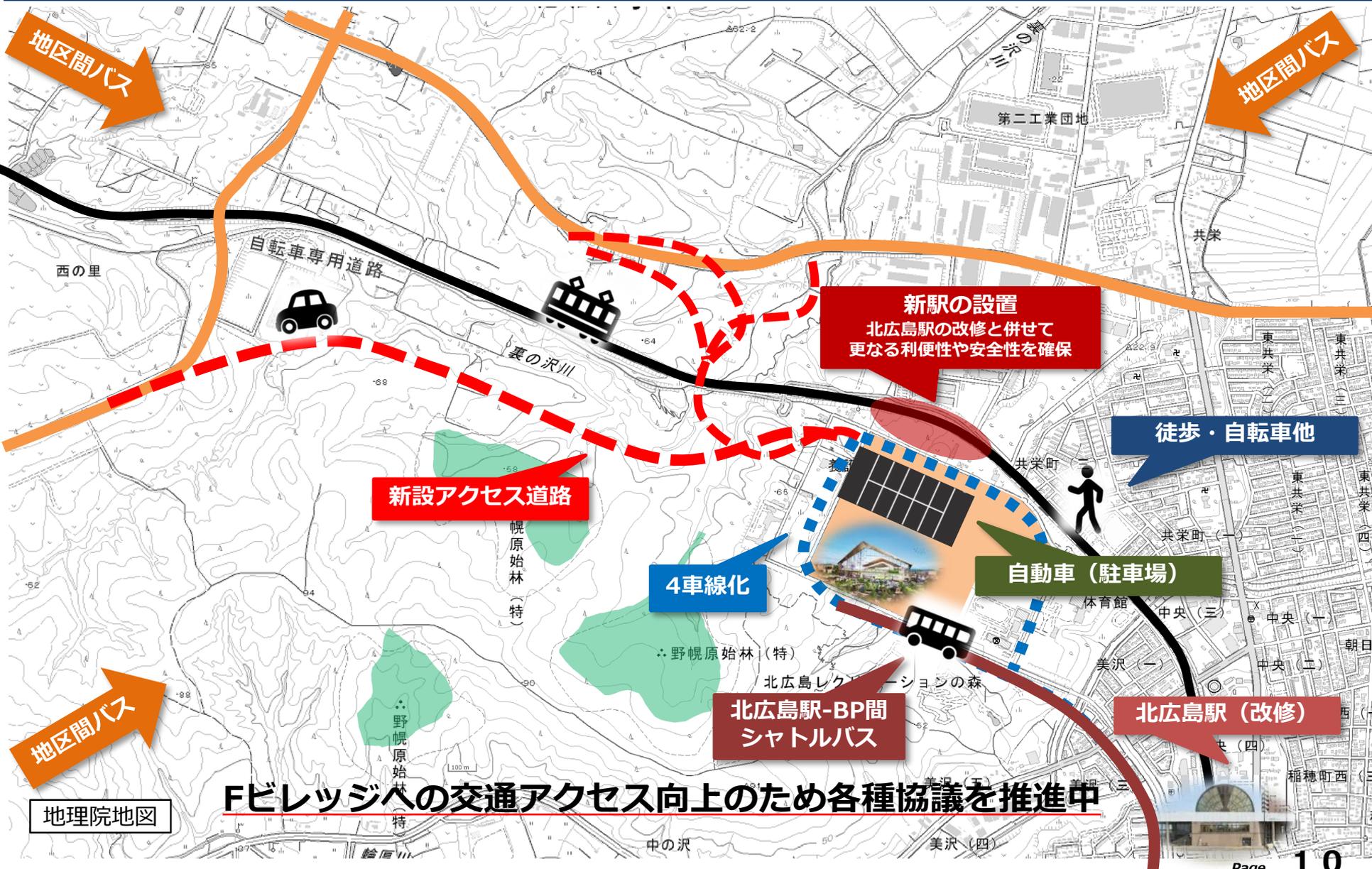


クリック!



現在の建築現場の様子が
365日リアルタイムで
放映中!

交通インフラの概要



広域連携体制の確立

北海道の新たなシンボルを目指す
ボールパークを通じた道内各地の活性化を図る



ボールパーク

道内市町村

北海道の特性を活かした
それぞれの価値や魅力を
共有し連携方策を
追求

ボールパークを通じた
まちづくり

北海道全体の価値魅力向上及び成長・発展への寄与

広域連携体制の確立

ボールパーク圏域エリアから広域連携へ

北海道ボールパーク
圏域連携勉強会

まちの特性を踏まえた上でのボールパークを通じた連携方策の検討

- ① ボールパークエリアで実現したいこと
- ② ボールパークをきっかけにまちで実現したいこと

各まちの課題や特長を洗い出し
キーワードを創出

周遊策分科会



食の魅力提供分科会



スポーツ・人づくり
分科会



交通分科会



各種行政機関・自治体・関係機関・企業・学識経験者が
一体となり分科会等を通じて諸課題の解決を図る

広域連携体制図

オール北海道ボールパーク連携協議会 (2019年7月設立)

(事務局：北広島市 ファイターズ スポーツ&エンターテインメント)

(オブザーバー：国土交通省北海道開発局 国土交通省北海道運輸局 経済産業省北海道経済産業局)

北海道ボールパーク圏域連携勉強会

札幌市	小樽市	苫小牧市	江別市	千歳市	恵庭市	石狩市
当別町	南幌町	由仁町	長沼町	栗山町	新篠津村	白老町

食の魅力提供 分科会

周遊策 分科会

スポーツ・人づくり 分科会

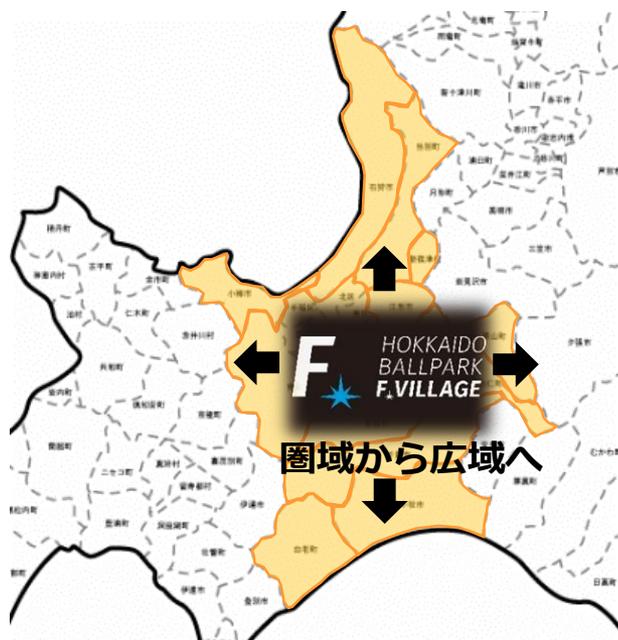
交通 分科会

北海道	北海道警察本部	厚別警察署	北海道旅客鉄道	北海道中央バス	ジェイ・アール北海道バス
札幌観光バス	千歳相互観光バス	東日本高速道路	大林組	電通	学識経験者 (宮脇教授・鈴木教授)

全32団体により構成 (2021年2月1日現在)

広域連携ビジョン

北海道あつてのFビレッジの実現を
道内のまちづくりにつなげる



2023 PLAY BALL
世界がまだ見ぬボールパークをつくろう